

発行所
(有)食品市場新聞社
 本社
 神戸市兵庫区中之島1丁目1-4
 電話 (078) 681-1046
 大阪支局
 大阪市福島区野田1丁目1-86
 電話 (06) 6469-7607
 講読料 (1ヵ月) 4000円

神戸市中央卸売市場本場
神果神戸青果株式会社
 代表取締役社長 原 田 俊 一
 電話 (078) 671-5522 (番代表)

4施設を改修

2期再整備事業の一環

加工作業で、施工業者を決定する。改修工事では、マグロ売場(約240平方メートル)、超低温冷蔵庫(前室を含め約160平方メートル)、冷凍売場(約260平方メートル)、塩干売場の用地(約900平方メートル)を整備。既存施設を解体しながら3段階に分けて工事を進め、23年春ごろの全面完成を目指す。

各売場は温度管理可能な施設として運用。10℃を中心に3〜15℃まで室温変更できる設備を導入し、品質管理機能を確保

する。設定温度マイナスイオン50℃の超低温冷蔵庫は、マグロ売場に併設する形で整備して業務効率を高める。塩干売場は、パネルで仕切ってせり場2室、保管スペース2室を設置する。

引き続き改修する鮮魚売場についても、温度管理可能な閉鎖型施設にする計画。配置イメージや規模感を現在検討しており、年度内に具体案を固める方針だ。水産仲卸売場の改修については、市が水産仲卸業者にヒアリングを今週末まで実施。その結果を踏まえて機能改修の方向性を協議していく。

引き続き改修する鮮魚売場についても、温度管理可能な閉鎖型施設にする計画。配置イメージや規模感を現在検討しており、年度内に具体案を固める方針だ。水産仲卸売場の改修については、市が水産仲卸業者にヒアリングを今週末まで実施。その結果を踏まえて機能改修の方向性を協議していく。

3カ月ぶりに増加

緊急事態宣言解除で客足回復

10月の全国百貨店売上高は、3848億円(店舗数調整後の前年同月比2.9%増)となった。緊急事態宣言などの解除で主要顧客層の外出機会が増加したほか、各社の各種催事が奏功し、3カ月ぶりに増加した。

日本百貨店協会が、会員73社・189店の実績を集計した。食料品の売上高は1025億円(2.8%増)。生鮮食品(6.8%減)は減少したものの、菓子(8.7%増)、総菜(5.7%増)が増加した。物産展のほか、弁当、総菜などの菓(もり関連商品、

拡大の影響で延期していた。倉敷青果荷受組合は、新会社の株式を100%保有しており、資産管理団体として存続。富本理事長が新会社の代表取締役社長を兼務する。

株式会社へ体制を移行する背景には、組合組織であるがゆえの「事業のやりにくさ」がある。例えば経産省、厚労省への補助金申請が進みにくいケースなどがあり、「次の世代が事業展開しやすい環境を整備するため、事業制約のない株式会社への体制移行を決定した」(富本理事長)。

同組合は1946年に設立。98年からはカット野菜部を立ち上げ、工場増設と大型投資を実施して、西日本地区では最大規模のカット野菜メーカーに成長している。20年の売上高は134億円(うちカット野菜部売上高47.5億円)。

富本理事長は「株式会社への移行で本業への影響はない。これを機に次のステップも検討していきたい」と話している。

果合 青組 来年1月に体制を移行
 倉敷 倉敷地方卸売市場の青果卸・倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長)は、来年1月1日から青果卸

新会社・倉敷青果へ事業譲渡

売、カット野菜の製造・販売に関する事業を新会社・倉敷青果(株)へ譲渡する。企業組織の合理化・効率化を図る狙い。

新会社は今年1月に設立し、当初は4月の事業譲渡を目指していたが、新型コロナウイルス感染

松田氏が受賞
 大阪市民表彰

大阪市は1日、第56回市民表彰の受賞者を発表。産業経済・消費生活功労で本紙関係では、松田英明氏(大阪市東部水産物卸協同組合副理事

GLOBAL FOODS NETWORK
KOBE YOKO
 世界の味
株式会社 神戸洋行
 本社: 神戸市中央区磯辺通4丁目2番8号
 TEL: 232-3521 FAX: 232-3723
 兵庫営業所: 神戸市兵庫区島上町2丁目1番22号
 TEL: 651-7121 FAX: 651-0062
 https://kobeyoko.co.jp/

た建設業が243件、小売店の休業が影響したアパレル関連が196件と続いた。このほか、飲食業などの不振に引きずら

飲食や旅行などサービス業は年末年始の需要期に入るが、変異ウィルス「オミクロン株」の世界

京(4.9%増)、名古屋(3.1%増)、京都(1.6%増)など、

水産物卸協同組合副理事